2027年3月期第2四半期（中間期）
決算ハイライト

2026年11月10日

ひろぎんホールディングス

未来を、ひろげる。
ひろぎんホールディングス

目次

Ⅰ．2026年度中間期の決算ハイライト　・・・ p.2 - 12

Ⅱ．2026年度の業績予想　・・・ p.13 - 14

Ⅲ．資本政策･株主還元　・・・ p.15 - 16

未来を、ひろげる。
ひろぎんホールディングス

Ⅰ．2026年度中間期の決算ハイライト

2026年度中間決算の概要

- 親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比85億円増益の288億円となり、中間期としては過去最高を更新。
- 連結ROEは、前年同期比2.2ポイント上昇の9.9%。

連結業績サマリー

(億円)

	2026年度中間期	前年同期比	(増減率)	公表比
連結粗利益	**631**	**△ 17**	**(△2.7%)**	
(除く国債等債券関係損益)	**1 775**	**108**		
資金利益	610	105		
役務取引等利益	123	△ 5		
特定取引・その他業務利益	△ 102	△ 117		
(うち国債等債券関係損益)	2 △ 144	△ 126		
営業経費 (△)	3 351	13		
与信費用 (△)	△ 7	△ 41		
株式等関係損益	2 131	117		
持分法による投資損益	0	0		
その他	△ 0	0		
経常利益	**418**	**126**	**(42.9%)**	**73**
特別損益	△ 2	0		
法人税等合計 (△)	127	41		
非支配株主に帰属する中間純利益 (△)	△ 0	0		
親会社株主に帰属する中間純利益	**288**	**85**	**(41.6%)**	**53**
営業経費率 ※	45.4%	△ 5.3%		
連結ROE	9.9%	2.2%		

※ 営業経費率 = 営業経費 ÷ (連結粗利益 − 国債等債券関係損益)

2026年度中間決算のポイント

1 連結粗利益 (除く国債等債券関係損益)

- 船舶関連を含む事業性貸出の積上げによる貸出金利息の増加や、有価証券ポートフォリオの改善による収益力強化により、資金利益が大幅に増加

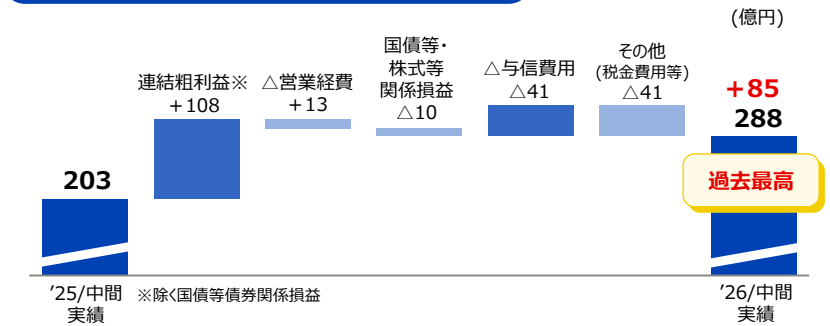
2 国債等債券関係損益/株式等関係損益

- 株式・投資信託の含み益を活用し、有価証券ポートフォリオの更なる改善に向け、低利回りの債券を約1,700億円処分、デュレーションを短期化

3 営業経費

- 中期計画に掲げる戦略の実現に向け、人的資本投資やDX・IT投資を中心に成長投資を拡充
- 一方で、トップラインの伸長により営業経費率は大幅に改善

親会社株主に帰属する中間純利益の増減要因



主要グループ会社の実績 - 広島銀行 -

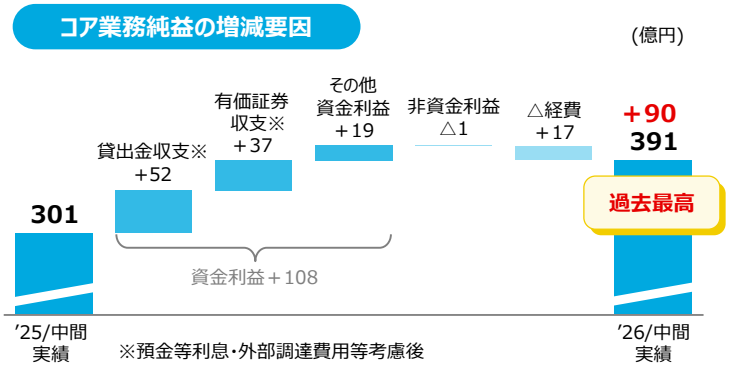
▶ コア業務純益(除く投信解約損益)は前年同期比90億円増益の391億円、中間純利益は前年同期比82億円増益の271億円となり、ともに過去最高を更新。

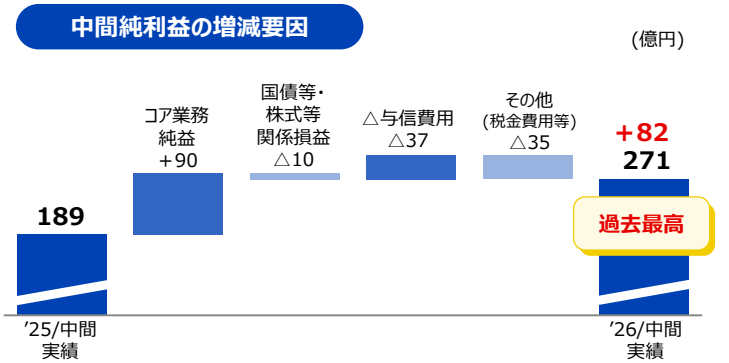
広島銀行 業績サマリー

(億円)

	2026年度 中間期	前年同期比	(増減率)
コア業務粗利益	**707**	**107**	**(17.8%)**
資金利益	615	108	
非資金利益	92	△ 1	
法人ソリューション	36	4	
アセットマネジメント	19	2	
個人ローン関連収益	15	△ 1	
その他（内国為替、外国為替等）	22	△ 6	
経費（除く臨時処理分） (△)	316	17	
コア業務純益	**391**	**90**	**(30.0%)**
コア業務純益（除く投信解約損益）	**391**	**90**	**(30.0%)**
国債等債券関係損益	△ 144	△ 126	
実質業務純益	**247**	**△ 36**	**(△12.5%)**
与信費用 (△)	△ 7	△ 37	
株式等関係損益	131	117	
その他臨時損益	4	3	
経常利益	**390**	**120**	**(44.6%)**
特別損益	△ 2	0	
法人税等合計 (△)	117	40	
中間純利益	**271**	**82**	**(42.7%)**

コア業務純益・中間純利益の増減要因





主要グループ会社の実績　- 広島銀行以外 -

▶　ひろぎん証券、ひろぎんリースの好調な業績が牽引し、グループ会社中間純利益の合計は前年同期比4億66百万円増益。

主要グループ会社 業績サマリー

金融連結子会社　非金融連結子会社

ひろぎん証券

(百万円)	2026年度 中間期	前年同期比
業務粗利益	3,129	456
経常利益	954	347
中間純利益	644	232

ひろぎんリース

(百万円)	2026年度 中間期	前年同期比
業務粗利益	1,704	30
経常利益	992	249
中間純利益	678	174

しまなみ債権回収

(百万円)	2026年度 中間期	前年同期比
業務粗利益	342	27
経常利益	105	48
中間純利益	70	35

ひろぎんキャピタルパートナーズ

(百万円)	2026年度 中間期	前年同期比
業務粗利益	218	92
経常利益	90	56
中間純利益	62	40

ひろぎんクレジットサービス

(百万円)	2026年度 中間期	前年同期比
業務粗利益	1,830	△ 286
経常利益	974	△ 16
中間純利益	643	△ 5

ひろぎんライフパートナーズ

(百万円)	2026年度 中間期	前年同期比
業務粗利益	48	27
経常利益	12	17
中間純利益	8	12

ひろぎんヒューマンリソース

(百万円)	2026年度 中間期	前年同期比
業務粗利益	206	43
経常利益	8	3
中間純利益	4	2

ひろぎんエリアデザイン

(百万円)	2026年度 中間期	前年同期比
業務粗利益	31	△ 12
経常利益	△ 157	△ 20
中間純利益	△ 158	△ 21

ひろぎんITソリューションズ

(百万円)	2026年度 中間期	前年同期比
業務粗利益	409	2
経常利益	△ 80	△ 19
中間純利益	△ 65	△ 22

グループ会社中間純利益※

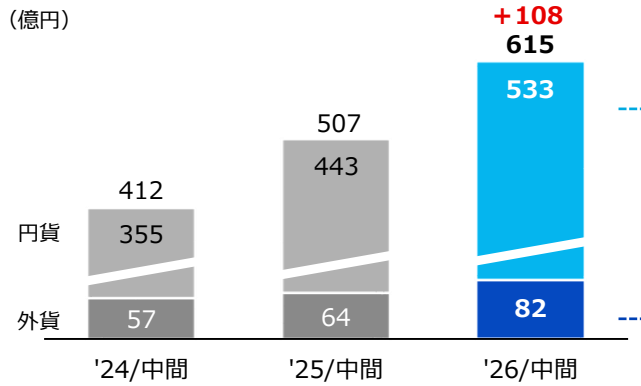
(百万円)	2026年度 中間期	前年同期比
グループ会社 中間純利益	2,008	466

※ 銀行を除く連結子会社等の中間純利益に出資比率を乗じた額の合計

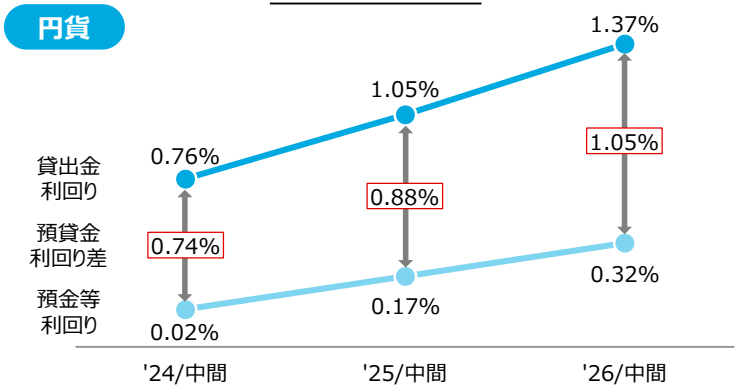
資金利益

HD連結 | 広島銀行単体

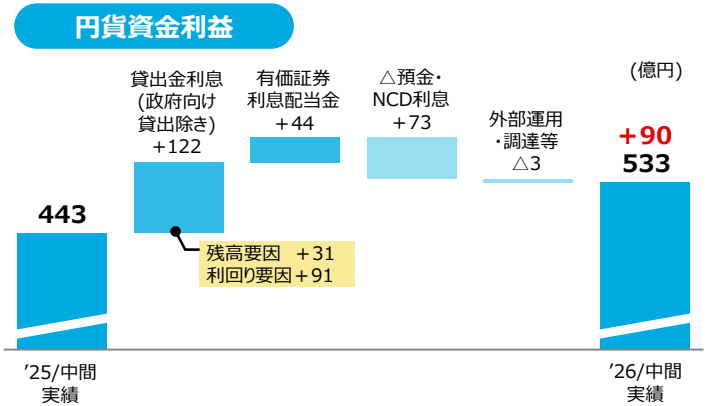
資金利益

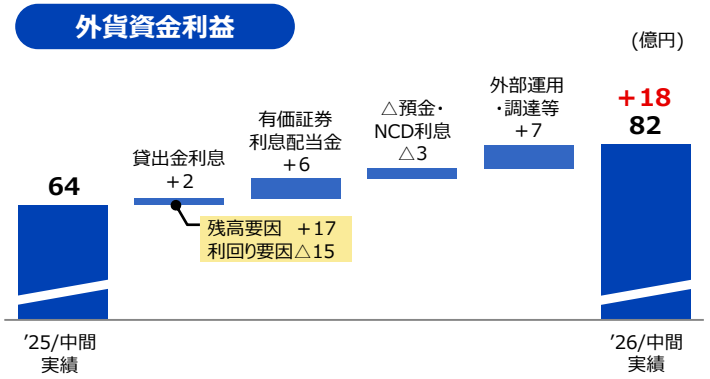


預貸金利回り



資金利益の増減要因

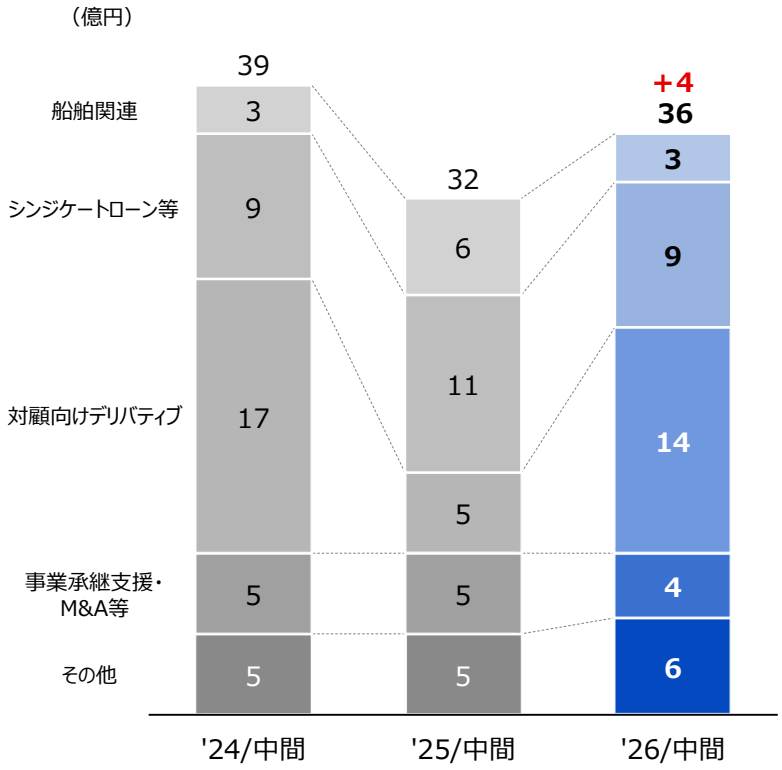




非資金利益

HD連結　広島銀行単体

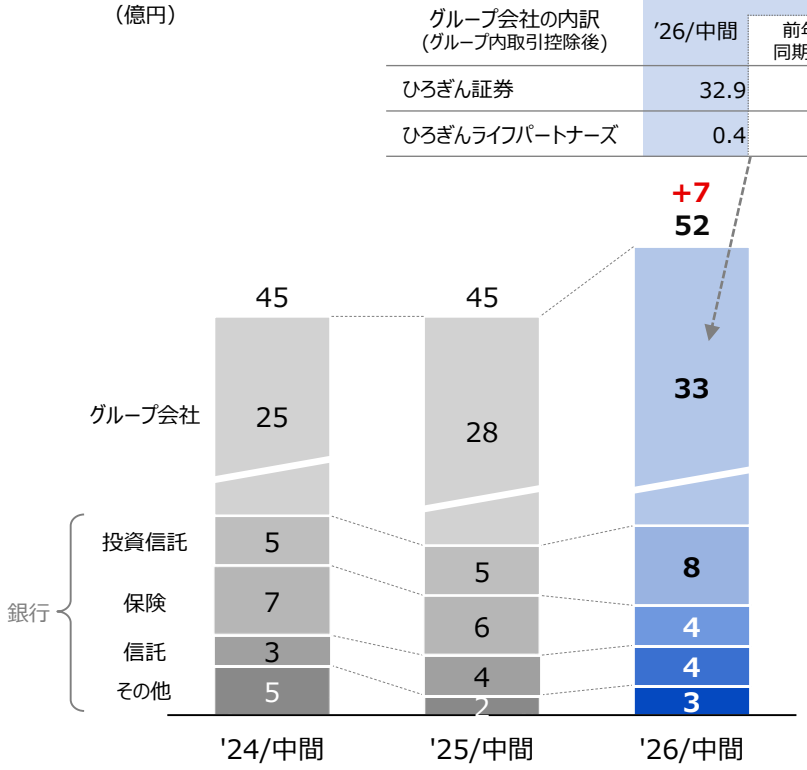
【銀行単体】法人ソリューションの内訳



【HD連結】アセットマネジメントの内訳（グループ合計）

（億円）

グループ会社の内訳（グループ内取引控除後）	'26/中間	前年同期比
ひろぎん証券	32.9	4.7
ひろぎんライフパートナーズ	0.4	0.3

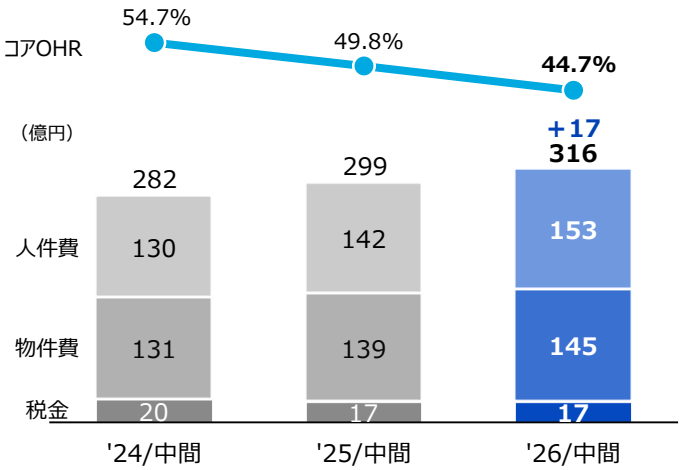


経費、コア業務純益／中間純利益

HD連結　広島銀行単体

経費（除く臨時処理分）・コアOHR

コアOHR ＝ 経費 ／ コア業務粗利益

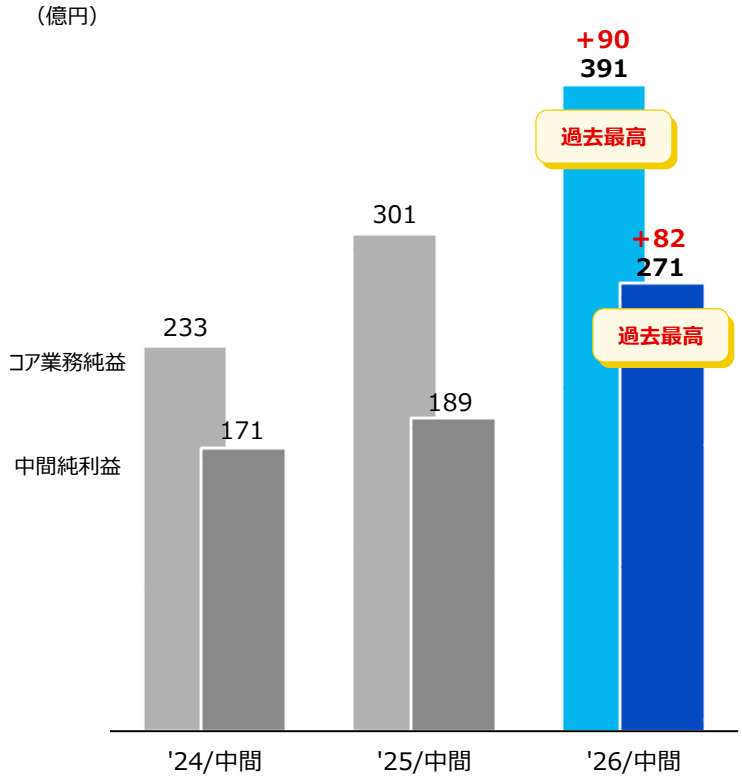


（参考）経費の主な増減要因

人件費	+11億円
物件費	+6億円
税金	±0億円
計	+17億円

- ベア・人事制度改定等による人財投資
- 初任給引き上げによる採用強化
- DX・IT投資の拡充
  （ワーキングインフラの高度化、店頭タブレットの更改、サイバーセキュリティの強化等）

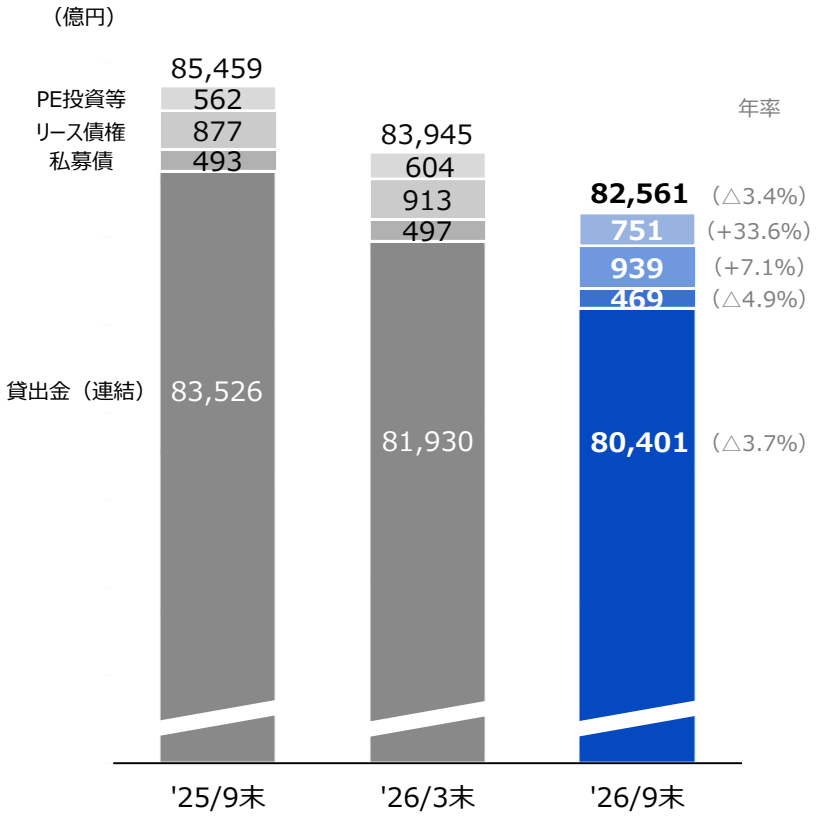
コア業務純益／中間純利益



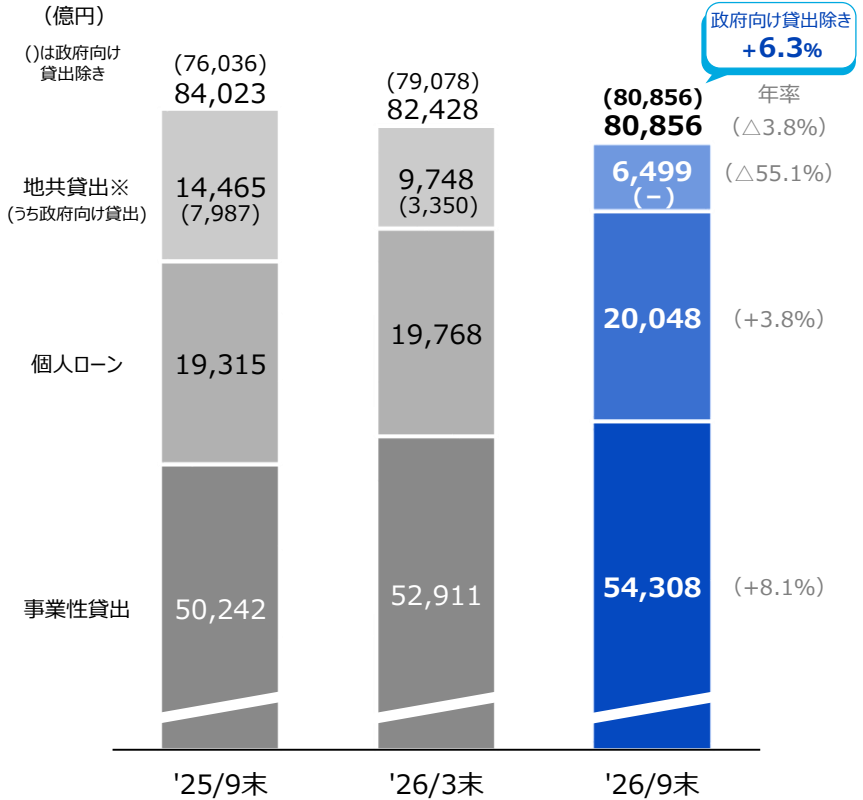
グループ総与信（末残）・貸出金（末残）

HD連結　広島銀行単体

【HD連結】グループ総与信（末残）



【銀行単体】貸出金（末残）



※ 地共貸出…地方公共団体、公社および政府向けの貸出

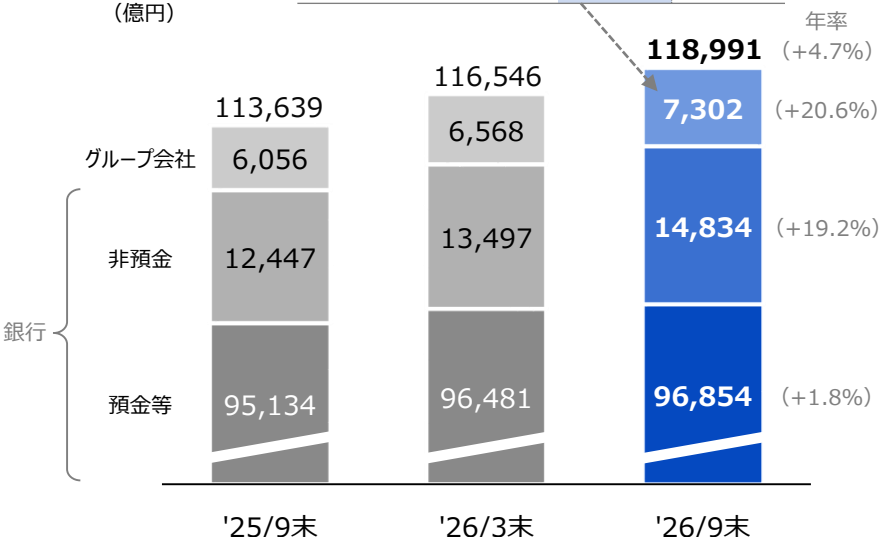
総預り資産（グループ合計　末残）、預金等（末残）

HD連結　広島銀行単体

【HD連結】総預り資産（グループ合計　末残）

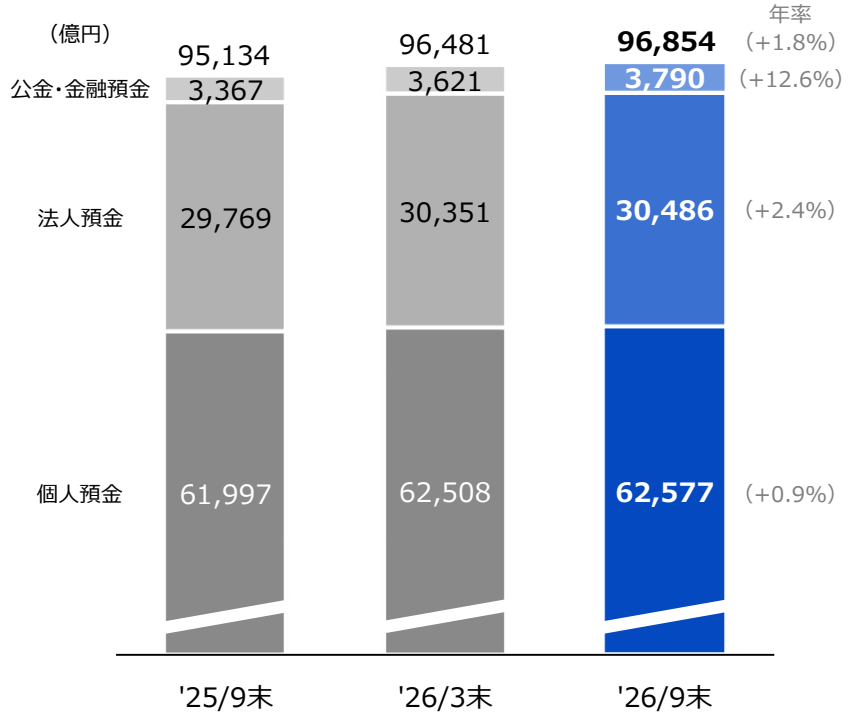
（億円）

グループ会社の内訳	'26/9末	'25/9末比
ひろぎん証券※1	7,202	1,171
ひろぎんライフパートナーズ	99	75



※1 ひろぎん証券の残高には、金融商品仲介は含んでおりません。
※2 グループ会社の残高は、時価ベースです。
※3「ひろぎんアプリ」を通じた金融商品仲介（楽天証券・SBI証券）は含んでおりません。

【銀行単体】預金等（末残）

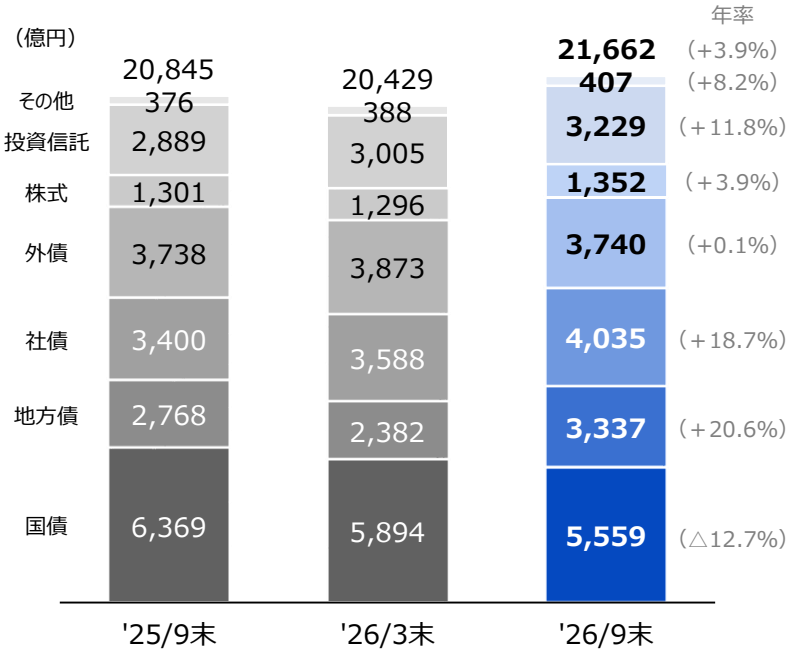


※ 預金等は、譲渡性預金を含んでおります。

有価証券（末残）・有価証券評価損益

HD連結 | 広島銀行単体

有価証券（末残）



（年）

	'25/9末	'26/3末	'26/9末
円債デュレーション	4.2	3.6	2.7
外債デュレーション	2.2	1.7	1.4

その他有価証券評価損益

（億円）

	'26/9末	'26/3末比
株式	746	90
債券	△ 1,385	△ 103
国債	△ 856	△ 25
地方債	△ 167	△ 12
社債	△ 360	△ 65
その他	628	130
うち外債	△ 157	△ 90
うち投資信託	787	221
その他有価証券 ※	△ 9	119
※ヘッジ考慮後の評価損益		
金利スワップ	621	128
その他有価証券(ヘッジ考慮後)	**612**	**248**

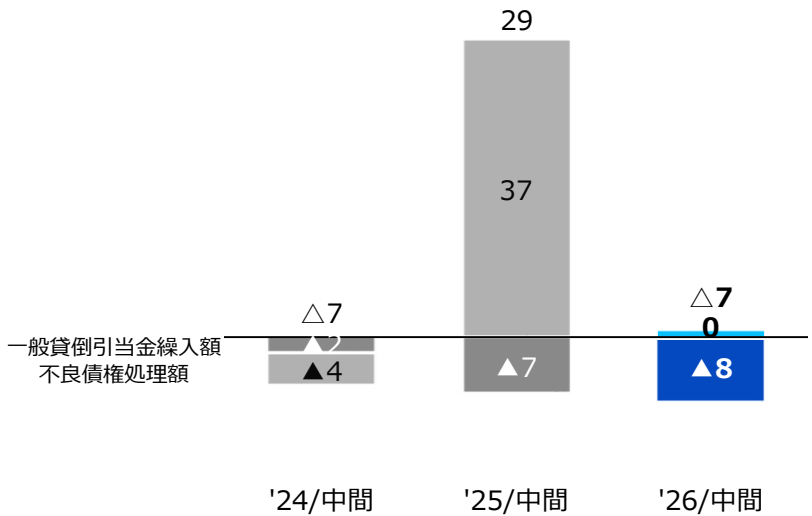
	'26/中間	前年同期比
有価証券利回り（外部調達コスト控除後）	**1.29%**	**+0.32%**

与信費用・不良債権

HD連結 | 広島銀行単体

与信費用・与信費用比率

（億円）



（億円、%）

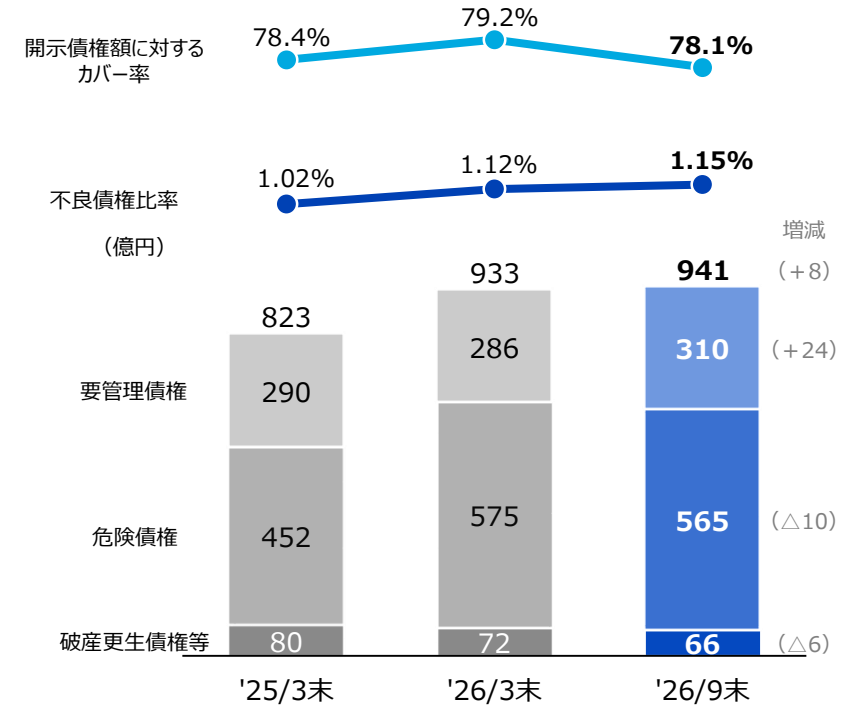
	'24年度	'25年度	'26年度見通し
与信費用	23	27	50
与信費用比率※	0.02	0.03	0.06

※ 与信費用比率 = 与信費用 ÷ 貸出金残高

金融再生法開示債権額・不良債権比率

不良債権比率 = 金融再生法開示債権額 / 総与信

開示債権額に対するカバー率 = カバー額（貸倒引当金＋担保保証等による保全） / 金融再生法開示債権額



未来を、ひろげる。
ひろぎんホールディングス

Ⅱ．2026年度の業績予想

2026年度の業績予想

▶ 2026年度の親会社株主に帰属する当期純利益は、当初公表値から55億円上方修正し、565億円を見込む。（3年連続の最高益更新）

【HD連結】 （億円）

	中間期実績	2026年度業績予想	前年比	当初公表比
経常利益	**418**	**825**	**205**	**80**
親会社株主に帰属する当期純利益	**288**	**565**	**128**	**55**
連結ROE	**9.9%**	**9.5%**	**1.3%**	**0.8%**

業績予想の前提となるマーケットシナリオ

円　貨　金　利：（短期）日銀政策金利 1.50%※ （長期）10年国債金利 3.00%
外　貨　金　利：（短期）FF金利 4.00%※ （長期）米10年国債金利 4.60%
為替（ドル／円）： 155円
日 経 平 均 株 価： 65,000円
※2027年3月末時点

（参考）広島銀行の2026年度の個別業績予想 （億円）

	中間期実績	2026年度業績予想	前年比	当初公表比
資金利益	615	1,275	229	90
非資金利益	92	215	4	0
コア業務粗利益	**707**	**1,490**	**233**	**90**
経費 （△）	316	670	50	5
コア業務純益	**391**	**820**	**183**	**85**
うち有価証券関係損益	△ 13	△ 10	39	△ 25
うち与信費用 （△）	△ 7	50	23	△ 20
経常利益	**390**	**765**	**196**	**80**
当期純利益	**271**	**530**	**127**	**55**

未来を、ひろげる。
ひろぎんホールディングス

Ⅲ. 資本政策・株主還元

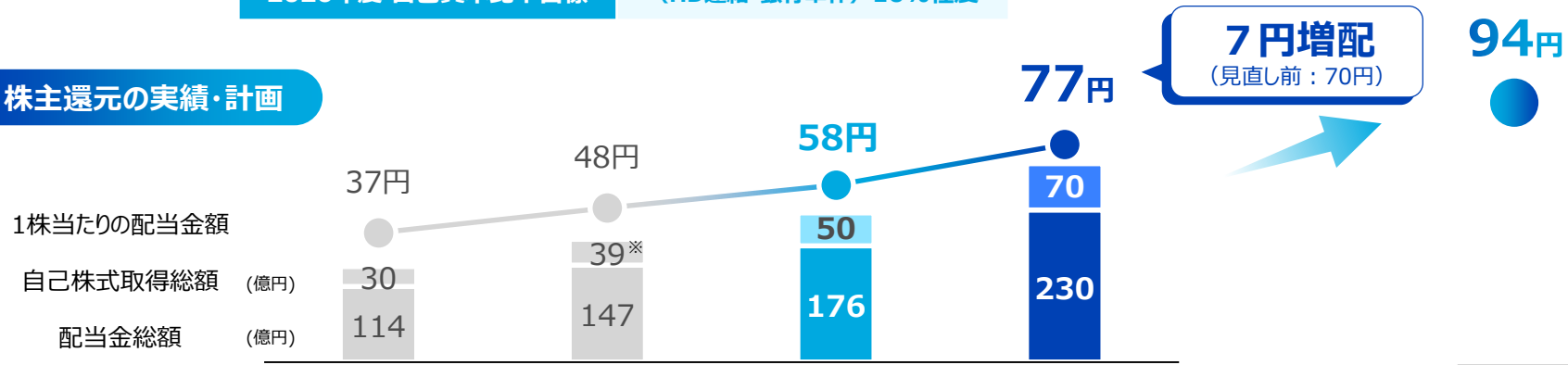
資本政策・株主還元

配当性向　利益成長を通じた1株当たり配当金の安定的かつ持続的な増加を基本とし、**配当性向を40%程度**といたします

自己株式取得　**財務の健全性を維持**する中、業績動向や市場環境等を総合的に考慮したうえで**機動的に実施**いたします

2026年度 自己資本比率目標　（HD連結・銀行単体）10%程度

株主還元の実績・計画



	'23年度（実績）	'24年度（実績）	'25年度（実績）	'26年度（見通し）	…	'28年度（計画）
配当性向	41.0%	40.5%	**39.8%**	**40.4%**		約**40%**
総還元性向	52.2%	51.7%※	**51.6%**	未定		未定
DOE	2.4%	3.0%	**3.4%**	未定		未定
親会社株主に帰属する当期純利益	276億円	358億円	**437億円**	**565億円**		**700億円**

上方修正（見直し前：510億円）

※ 取得額50億円のうち100万株は、ひろしま美術館に対する賛助を目的とした第三者割当による自己株式処分を実施しており、実質的な取得額は39億円として算出
(注) DOEは、配当総額÷株主資本（期初・期末平均）にて算出